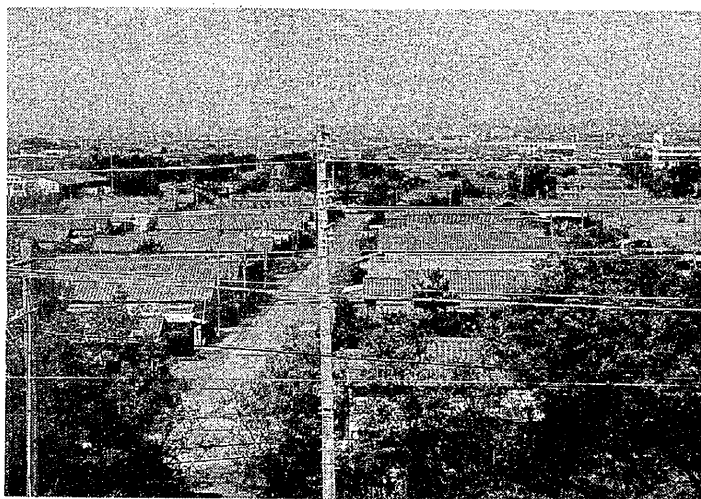


またも社宅立ち退き

原万田社宅全地域を対象

会社は九月十一日、財務対策を理由にして原万田社宅全地域(アパートを除外・入居者六十三戸)の立ち退きを提案、転居時期は来年三月末日、転居費用は従来通り、額、④工事費の会社負担と管理の改善、⑤転居期限の二ヶ月延長、



縮小合理化が強行されるとともに、大島、四山、原万田、勝立、上官、緑ヶ丘など各社宅の立ち退きが行なわれた。(写真は原万田社宅)

弱者にしわ寄せ

財務対策を理由とした、緑ヶ丘社宅の一部立ち退きに続いて、今度は原万田社宅の全面撤去が提案され、すでに実施されています。この社宅でも共通しているのは、ゴーストタウン化の中で、飼いが主が居なくなった大や猫たちの不安な姿と、車を横付けして残された家財や植木を持ち出す、セミアロ化した人の姿があります。大島は集団から野性に戻り、やがては離散してしまっているように、猫は育った所から大きな道路を越えてはいかない習性を持つ



社宅立ち退き

荒尾ブロック 野田 多美子

相次ぐ合理化の中で、緑ヶ丘社宅の一部が九月三十日で強制立ち退きになりました。百三十世帯の立ち退きですから大変です。学校が夏休みに入ると、日曜日ごとに転居が始まりました。何十年ぶりという猛暑の中で、いろいろな不満をもちながらの転居です。四月に入居した新入生たちも、一学期だけで転校しなければなりません

て検町の浴場に行き、番台さん「こんばんは」と声をかけようとして、びくびくしました。番台にはベニヤ板が張ってあり、おぼろの姿はありませんでした。十月一日から番台さん掃除をされる方が男性なので、

はなくなり、着替え場には鍵のついた狭いロッカーが並んでいました。お風呂に入るのもゆっくりにした気分になりません。中に入ってみると、これも所狭しと肩を引く、十月一日に始め

あほだら



職場からの声

五日分の利子を払え

「五日間も給料支払いが遅るってね。一日で早よう貰いたかつに逆やね。人の生活は何んて思っとやろか」

早急に温度対策を

暑さ寒さも彼岸まで。記録的な夏の暑さも、台風十九号でどこか吹きとんだようだ。

無理難題はやめてくれ

旧第一鉱(三川鉱)では、坑外の各現場に対してゴミ(産業廃棄物)を出すなどについており、現場ではゴミの処理に困っています。

9次策確立 9・28抗議集会開く

一九六七年九月二十八日、三川鉱で発生した坑内火災によって上村孝知さん七人が死亡、四百人を超えるCO患者を出した災害から二十三年目を迎えた九月二十八日、二十号台風の接近による雨天のため組合事務所午後五時三十分から、第九次炭炭政策確立、原

縮小・撤退を求めた八次策は、た、一時的な価格論のみを追求われわれが指摘し心配した通り、急激な騰高で、しかも大幅に縮小・撤退が強行された。八次策以降、離職を余儀なくされた者は失業の害に呻吟し、ギン資源は石炭である。この貴重な労働条件の低下にあえ重なる国民の財産を縮小・閉鎖することは、石炭資源の永久的放棄であり、世界有数の技術・技能の損失である。

現存炭鉱の存続を求めて 石炭労協第8回臨時総会決議

一九九〇年九月二十六日 石炭労働組合協議会 日本炭鉱労働組合 全国石炭労働組合 全国炭鉱職員労働組合協議会

秋の囲碁大会

三池労働組合愛好会では秋の囲碁大会を開催します。多数ご参加下さい。 とき 11月11(日) 午前10時から。 ところ 組合会議室 ※昼食を準備しています。

10・21反戦デー

大牟田集会 日時 10月17日(水) 17時30分 場所 労働福祉会館大ホール 主催 大地評、社会党、共産党 講演 「米・冷戦体制の終わりと中東情勢」 講師 斎藤文男・九大教授